



平成29年8月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年7月14日

上場会社名 株式会社 ウエストホールディングス
 コード番号 1407 URL <http://www.west-gr.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 吉川 隆

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 椎葉 栄次

TEL 03-5358-5757

四半期報告書提出予定日 平成29年7月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第3四半期の連結業績(平成28年9月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第3四半期	21,546	9.0	1,103	47.7	816	58.7	519	54.7
28年8月期第3四半期	23,684	25.5	2,107	36.2	1,977	31.3	1,148	37.8

(注)包括利益 29年8月期第3四半期 539百万円 (50.5%) 28年8月期第3四半期 1,090百万円 (42.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第3四半期	20.55	
28年8月期第3四半期	43.55	

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第3四半期	64,893	13,027	20.1
28年8月期	57,658	13,373	23.2

(参考)自己資本 29年8月期第3四半期 13,011百万円 28年8月期 13,357百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期		0.00		35.00	35.00
29年8月期		0.00			
29年8月期(予想)				30.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成29年 8月期の連結業績予想(平成28年 9月 1日～平成29年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,250	4.7	3,685	25.8	3,285	31.4	2,070	23.0	81.83

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 有
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年8月期3Q	27,235,200 株	28年8月期	27,235,200 株
期末自己株式数	29年8月期3Q	1,939,936 株	28年8月期	1,939,866 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年8月期3Q	25,295,280 株	28年8月期3Q	26,362,092 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用環境の改善や個人消費の緩やかな回復基調などがみられたものの、米国新政権の政策等、海外経済の不確実性が高まるとともに、金融市場の変動による影響が懸念されるなど、景気の先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループは、従来から行っている太陽光発電システムの材料調達・施工・販売・O&M（オペレーションアンドメンテナンス）の事業を推進する中で、LED照明や空調設備による省エネ事業、電力小売事業などトータルエネルギー事業への展開を進めてまいりました。

特に、提携金融機関とのアライアンスを強化し、ビジネスマッチング契約を締結し、事業拡大を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの売上高は215億46百万円（前年同四半期比9.0%減）、営業利益を11億3百万円（前年同四半期比47.7%減）、経常利益を8億16百万円（前年同四半期比58.7%減）計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益を5億19百万円（前年同四半期比54.7%減）計上いたしました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、第2四半期連結会計期間より、「太陽光発電事業」としていた報告セグメントの名称を「再生可能エネルギー事業」に変更しております。ただし、当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

① 再生可能エネルギー事業

産業用太陽光発電事業については、本年4月から施行された新たな固定買取価格制度での新規認定申請及びみなし認定の移行手続きにおける審査期間が長期化していること及び、メガソーラー事業においても引き続き開発計画協議に時間を要すなど、全体的に事業計画が遅れております。

以上の結果、売上高は150億57百万円（前年同四半期比41.5%減）、営業利益は7億70百万円（前年同四半期比74.2%減）となりました。

② 省エネルギー事業

提携金融機関とのビジネスマッチング契約による情報を活用し、商業施設や工場・病院などのエネルギーを大量に消費する施設に対して、省エネのトータルサービスを提供し、省エネ効果によりお客様に初期費用の負担が生じないウエストエスコ事業の受注拡大に努めてまいりました。（施工実績累計957件59億45百万円）

以上の結果、売上高は4億49百万円（前年同四半期比826.2%増）、営業損失3億99百万円（前年同四半期は営業損失1億47百万円）となりました。

③ 電力事業

電力の小売事業において社内の体制整備を進めているものの、当初計画に比べ新規契約の受注が遅れておりますが、受注は着実に増加しております。具体的には45MWの新規受注を行い、累計で172MWの契約となっております。

以上の結果、売上高は55億36百万円（前年同四半期比313.4%増）、営業利益は5億36百万円（前年同四半期比749.3%増）となりました。

④ メンテナンス事業

当社グループにて企画・設計・施工を行ったメガソーラー発電所を中心に、安定した売電収入として施設の継続的なメンテナンスを行い、太陽光発電所のオーナー様へ安全・安心・感動を提供し、受注実績を積み上げてまいりました。

以上の結果、売上高は9億13百万円（前年同四半期比0.7%増）、営業利益1億54百万円（前年同四半期比7.3%増）となりました。

⑤ その他

その他事業の売上高は1百万円（前年同四半期比83.7%減）、営業利益0百万円（前年同四半期比79.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、72億34百万円増加し、648億93百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末比75億80百万円増加し、518億65百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末比3億45百万円減少し、130億27百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

資産の増加の主な要因は、有形固定資産が62億22百万円増加したことによるものであります。

負債の増加の主な要因は、借入金及び社債が92億15百万円増加した一方、支払手形及び買掛金の減少15億41百万円、工事未払金の減少12億17百万円によるものであります。

純資産の減少は、親会社株主に帰属する四半期純利益5億19百万円計上した一方、配当金の支払8億85百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成28年10月14日付「平成28年8月期決算短信」において公表いたしました平成29年8月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（平成29年7月14日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,903	33,071
受取手形及び売掛金	1,361	1,951
完成工事未収入金	5,046	1,561
商品	1,152	1,133
販売用不動産	880	1,144
未成工事支出金	4,295	5,015
原材料及び貯蔵品	132	47
繰延税金資産	365	362
その他	2,223	2,406
貸倒引当金	△161	△178
流動資産合計	45,200	46,516
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	7,218	11,811
その他(純額)	2,539	4,168
有形固定資産合計	9,757	15,979
無形固定資産		
のれん	82	58
その他	125	132
無形固定資産合計	207	191
投資その他の資産		
投資有価証券	779	367
長期貸付金	190	195
繰延税金資産	420	420
その他	1,136	1,258
貸倒引当金	△36	△36
投資その他の資産合計	2,491	2,205
固定資産合計	12,457	18,376
資産合計	57,658	64,893

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,083	1,541
工事未払金	2,139	922
1年内償還予定の社債	900	1,000
短期借入金	9,293	9,979
未払法人税等	591	—
前受金	2,593	2,339
賞与引当金	—	35
完成工事補償引当金	237	237
繰延税金負債	2	2
その他	1,613	3,042
流動負債合計	20,455	19,100
固定負債		
社債	1,600	1,550
長期借入金	19,936	28,416
資産除去債務	297	596
繰延税金負債	1,477	1,521
その他	517	680
固定負債合計	23,828	32,764
負債合計	44,284	51,865
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,020	2,020
資本剰余金	728	728
利益剰余金	12,142	11,777
自己株式	△1,542	△1,542
株主資本合計	13,348	12,983
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8	28
繰延ヘッジ損益	—	5
為替換算調整勘定	—	△5
その他の包括利益累計額合計	8	28
非支配株主持分	15	15
純資産合計	13,373	13,027
負債純資産合計	57,658	64,893

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
売上高	23,684	21,546
売上原価	16,701	15,646
売上総利益	6,982	5,900
販売費及び一般管理費	4,874	4,796
営業利益	2,107	1,103
営業外収益		
受取利息	19	5
受取配当金	1	8
為替差益	48	—
貸倒引当金戻入額	15	—
持分法による投資利益	28	2
その他	26	18
営業外収益合計	140	36
営業外費用		
支払利息	218	303
為替差損	—	4
その他	52	15
営業外費用合計	270	323
経常利益	1,977	816
特別利益		
関係会社株式売却益	0	—
段階取得に係る差益	—	11
負ののれん発生益	8	—
特別利益合計	8	11
特別損失		
固定資産売却損	—	1
固定資産除却損	26	—
特別損失合計	26	1
匿名組合損益分配前税金等調整前四半期純利益	1,959	826
匿名組合損益分配額	25	27
税金等調整前四半期純利益	1,934	798
法人税等	786	279
四半期純利益	1,148	519
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,148	519

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益	1,148	519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	19
繰延ヘッジ損益	—	5
為替換算調整勘定	—	△5
その他の包括利益合計	△57	19
四半期包括利益	1,090	539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,090	539
非支配株主に係る四半期包括利益	△0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業的前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用については、原則的な方法により計算しておりましたが、当社グループの四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(商品から有形固定資産への振替)

所有目的の変更により、商品の一部を有形固定資産に振替いたしました。その内容は以下のとおりであります。

機械装置及び運搬具	313百万円
計	313百万円

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(販売用不動産から有形固定資産への振替)

所有目的の変更により、販売用不動産の一部を有形固定資産に振替いたしました。その内容は以下のとおりであります。

土地	55百万円
計	55百万円

なお、セグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年9月1日 至 平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	再生可能 エネルギー 事業	省エネル ギー事業	電力事業	メンテナ ンス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	21,878	48	1,329	425	23,682	1	23,684	—	23,684
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,861	—	9	480	4,351	5	4,357	△4,357	—
計	25,739	48	1,339	906	28,034	7	28,041	△4,357	23,684
セグメント利益又は損 失(△)	2,984	△147	63	143	3,044	4	3,049	△941	2,107

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△941百万円には、固定資産の未実現利益消去△764百万円、本社費用の配賦差額△176百万円が含まれております。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	再生可能 エネルギー 事業	省エネル ギー事業	電力事業	メンテナ ンス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,019	449	5,535	540	21,545	1	21,546	—	21,546
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	—	1	372	411	—	411	△411	—
計	15,057	449	5,536	913	21,957	1	21,958	△411	21,546
セグメント利益又は損 失(△)	770	△399	536	154	1,062	0	1,063	40	1,103

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額40百万円には、固定資産の未実現利益消去42百万円、本社費用の配賦差額△2百万円が含まれております。
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 4. 追加情報に記載のとおり、所有目的の変更により、商品及び販売用不動産の一部を有形固定資産に振替いたしました。この変更に伴うセグメント利益又は損失(△)に与える影響はありません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第2四半期連結会計期間より、「太陽光発電事業」としていた報告セグメントの名称を「再生可能エネルギー事業」に変更しております。ただし、当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の報告セグメントの名称で記載しております。